

鉄道車両用防振ゴムが JR 東海 NEW 特急ひだ「HC85 系」に採用

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、当社の鉄道車両用防振ゴムが、東海旅客鉄道株式会社（JR 東海、本社：名古屋市中村区、代表取締役社長：金子慎）の NEW 特急ひだ「HC85 系」に採用されましたので、お知らせいたします。



鉄道車両用防振ゴム（軸バネ円筒積層ゴム）



当社製品が採用された HC85 系 = JR 東海提供

JR 東海の HC85 系は、新型特急として、7月1日より、JR 高山本線 名古屋駅～高山駅間で運行を開始します。

HC85 系は、JR 東海初となる「ハイブリッド方式」が採用されています。ディーゼルエンジンで発電した電力と、ブレーキ時などに発生するエネルギーによって充電される蓄電池の電力を組み合わせる方式です。安全性・快適性の向上や環境負荷の低減などを図りつつ、ハイブリッド方式の鉄道車両として国内初の最高速度、時速 120km での営業運転を実現します。

当社の鉄道車両用防振ゴムは、鉄道車両の台車部分に取り付けられ、走行中の振動を低減する製品です。HC85 系では、日本車輛製造株式会社（日本車両、本社：名古屋市熱田区、代表

取締役社長：五十嵐一弘）で製作された台車：N-QUALIS シリーズ（NS 台車）に、軸バネ円筒積層ゴムとリンク用のブッシュが搭載されています。台車にかかる荷重を支えつつ、軌道から伝わる振動を低減し、鉄道での安全な移動に貢献します。

旅客の皆さまの快適な移動の一翼を担うとともに、環境対応型鉄道車両への当社製品の供給を通して、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■ JR 東海 HC85 系

<https://market.jr-central.co.jp/zairai/hc85/>

同製品は、3 月に JR 中央本線 名古屋駅～中津川駅間で運行を開始した在来線通勤型電車「315 系」にも採用されています。

■ プレスリリース：住友理工の鉄道車両用防振ゴムが JR 東海「315 系」に採用

<https://www.sumitomoriko.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/04/n51910635.pdf>

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>